

トリアゾラム錠 0.25mg 「TSU」 使用上の注意改訂のお知らせ

拝啓、時下益々ご清祥の段お慶び申し上げます。

平素は弊社製品に対し格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

この度、使用上の注意を下記のとおり自主改訂致しましたのでご連絡申し上げます。

今後のご使用に際しましては、新しい〔使用上の注意〕をご参照下さいますようお願い申し上げます。

敬具

記

「禁忌」(4)の項を下記のとおり改訂致します。(_____ : 自主改訂、 _____ : 削除部分)

改 訂 後	改 訂 前
<p>【禁忌(次の患者には投与しないこと)】</p> <p>(1) 本剤に対し過敏症の既往歴のある患者</p> <p>(2) 急性狭隅角緑内障のある患者</p> <p>(3) 重症筋無力症の患者〔筋弛緩作用により、症状を悪化させるおそれがある。〕</p> <p>(4) 次の薬剤を投与中の患者：イトラコナゾール、フルコナゾール、ホスフルコナゾール、ポリコナゾール、ミコナゾール、HIV プロテアーゼ阻害剤(インジナビル、リトナビル等)、エファビレンツ(「相互作用」の項参照)</p>	<p>【禁忌(次の患者には投与しないこと)】</p> <p>(1) 本剤に対し過敏症の既往歴のある患者</p> <p>(2) 急性狭隅角緑内障のある患者</p> <p>(3) 重症筋無力症の患者〔筋弛緩作用により、症状を悪化させるおそれがある。〕</p> <p>(4) 次の薬剤を投与中の患者：アゾール系抗真菌剤(イトラコナゾール、フルコナゾール、ミコナゾール等)、HIV プロテアーゼ阻害剤(インジナビル、リトナビル等)、エファビレンツ(「相互作用」の項参照)</p>

「(3)相互作用 1)併用禁忌」の項を下記のとおり改訂致します。(_____ : 自主改訂 _____ : 削除部分)

改 訂 後			改 訂 前		
1) 併用禁忌 (併用しないこと)			1) 併用禁忌 (併用しないこと)		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
イトラコナゾール フルコナゾール ホスフルコナゾール ポリコナゾール ミコナゾール HIVプロテアーゼ阻害剤 (インジナビル、 リトナビル等) エファビレンツ	本剤の血中濃度が上昇し、作用の増強及び作用時間の延長が起こるおそれがある。	本剤とこれらの薬剤の代謝酵素が同じ(CYP3A4)であるため、本剤の代謝が阻害される。	アゾール系抗真菌剤 イトラコナゾール (イトリゾール) フルコナゾール (ジフルカン) ミコナゾール (フロリード)等 HIVプロテアーゼ阻害剤 インジナビル (クリキシバン) リトナビル (ノービア)等 エファビレンツ (ストックリン)	本剤の血中濃度が上昇し、作用の増強及び作用時間の延長が起こるおそれがある。	本剤とこれらの薬剤の代謝酵素が同じ(CYP3A4)であるため、本剤の代謝が阻害される。